

鳥獣管理士資格認定試験 過去問題（一部抜粋）
共通問題（準1級新規、2級新規、3級新規受験者用）

- ① 野生鳥獣による被害拡大の要因として考えられる一般的な理由として不適切なものを選びなさい。

- 1) 過疎化や高齢化等に伴う農村地域における人間活動の低下
- 2) 農村整備事業の複合的な影響としての野生鳥獣の分布拡大
- 3) 狩猟者の高齢化や減少による捕獲圧の低下
- 4) 少雪化や暖冬傾向による野生鳥獣の生息適地の拡大

- ② 総合的な被害防止管理の要素に関する記述について、不適切なものを選びなさい。

- 1) 防護柵の設置や里の餌場価値を下げる被害管理
- 2) 耕作放棄地の解消等による被害にあいにくい農業形態
- 3) 捕獲や追い払い等による計画的な個体管理
- 4) 植林地の果樹園や落葉樹林への土地利用転換

- ③ 鳥獣の捕獲に関する記述について、誤りのあるものを選びなさい。

- 1) 鳥獣の捕獲等は、原則的には禁じられている。
- 2) 鳥獣捕獲の許可要件は、①学術研究、②生活環境、農林水産業又は生態系に係る被害防止（有害捕獲）、③特定鳥獣の数の調整、④その他環境省令で定められている目的である。
- 3) 狩猟を行う場合は、狩猟免許を取得し、狩猟をしようとする地域を管轄する都道府県の狩猟者登録を受けることが必要である。
- 4) 有害鳥獣捕獲であっても、休猟区や鳥獣保護区での捕獲は禁じられている。

- ④ 以下の数式の記号を示す適切な組み合わせを選びなさい。

個体数の変化の過程を図示すると成長曲線が得られ、一般にS字型となる。S字型の

成長曲線を最も簡単かつ基礎的に表現したものとして、ロジスティック式がある。

$$\frac{dN}{dt} = \mu N \frac{K - N}{K}$$

- 1) N : 個体数 t : 時間 μ : 増加率 K : 飽和密度または環境収容力
- 2) N : 時間 t : 個体数 μ : 増加率 K : 飽和密度または環境収容力
- 3) N : 飽和密度または環境収容力 t : 時間 μ : 増加率 K : 個体数
- 4) N : 飽和密度または環境収容力 t : 増加率 μ : 時間 K : 個体数

以下の にあてはまる、最も適切な語句を一つ選びなさい。

- ⑤ 生物の栄養的役割の階層的構造を栄養段階といい、各栄養段階を個体数やエネルギー量などの生物量で表し、生態系の構造を模式的に示したものを という。

- 1) 生態系ピラミッド
- 2) 階級社会図
- 3) 食物網
- 4) 物質循環

- ⑥ 日本に生息する野生鳥獣約 700 種のうちから、狩猟対象としての価値、農林水産業等に対する害性及び狩猟の対象とすることによる鳥獣の生息状況への影響を考慮し、鳥獣保護管理法施行規則により 48 種類が として選定されている。

- 1) 特定鳥獣
- 2) 狩猟鳥獣
- 3) 保護鳥獣
- 4) 管理鳥獣